

エレクトロニクス部会ニュース

Vol. 6, No. 6 (通巻 No. 34)

平成 26 年 2 月 18 日(火)

部会ニュース Vol. 6, No. 6 (通巻 No. 34) をお届けします。

第 6 回幹事会の主な議事内容は、**今年度の活動報告**、**マイクロプロセッシング研究討論会**、**平成 26 年度シンポジウム**等についてです。また、**北海道大学地球環境科学院 准教授 川口俊一氏**の御講演がありました。

(1) 平成 25 年度第 6 回幹事会

日時：2 月 13 日(木) 14:00-17:00

場所：住友ベークライト(株)会議室

出席者：三平、近藤、大野、荻野、奥川、佐藤、鳥成、高木、所、林、丸中、宮崎、横澤、石井、中村 (司会)、及川

主な議事内容は次の通りです。

1. 今年度の活動報告

資料 1 を御覧下さい。なお、**資料 2** に来年度の事業計画を掲載しました。これはメールにて審議済みです。



2. マイクロプロセッシング研究討論会の廃止

標記の件につき荻野幹事より **資料 3** に沿って説明があり、了承されました。今後年会と秋季大会を通して当部会の研究ポテンシャルを如何に上げるかが問題となります。

3. 平成 26 年度シンポジウム

めっき技術について、講演者と講演内容について議論されました。

4. 第 79 年会

平成 26 年 3 月 18 日(火)~20 日(木)岐阜大学柳戸キャンパスで化学工学会第 79 年会が開催されます。**セッション「エレクトロニクス」は 19 日(水) 10:40-12:00 に口頭発表 4 件が、同日 13:00-15:00 にポスター発表 2 件が予定されています。**ご参加の程お願い申し上げます。

5. 講演

北海道大学地球環境科学院 准教授 川口俊一氏より「**自己組織化法に基づく界面構築技術とアプリケーション**」と題する講演をして頂きました。講演後活発な質疑応答が行われました。



(2) 平成 26 年度第 1 回幹事会

標記会議を次の要領で開催します。どうぞご出席く

ださい。

- 1.日時：平成 26 年 4 月 25 日(金) 14:00～
- 2.場所：住友ベークライト㈱会議室
- 3.議題：化学工学会第 79 年会
26 年度シンポジウム
第 46 回秋季大会 等

(3) 行事予定

1. 化学工学会第 79 年会

日時：平成 26 年 3 月 18 日(火)～20 日(木)

場所：岐阜大学柳戸キャンパス

セッション「エレクトロニクス」は 3 月 19 日(水)11:40～12:00 口頭発表 4 件、13:00～15:00 ポスター発表 2 件の予定です。詳細は <http://www3.scej.org/meeting/79a/> を御覧下さい。

2. 化学工学会第 46 回秋季大会

日時：平成 26 年 9 月 17 日(水)～19 日(金)

場所：九州大学伊都キャンパス

資料 1

エレクトロニクス部会 2013 年度(2013 年 3 月～2014 年 2 月)活動報告書

2014 年 2 月 21 日

1. 国際関連事業

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者		
				国内	国外	合計

2. シンポジウム・講演会などの行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
5 月 17 日	第 4 回マイクロプロセッシング研究討論会	【主催】エレクトロニクス部会	住友ベークライト(株)	22 名
9 月 5 日	シンポジウム「タッチ・パネルの最新技術動向」	【主催】エレクトロニクス部会 【協賛】電子 SI 連絡協議会、日本フォトアプリケーション協会、エレクトロニクス実装学会、日本電子回路工業会	東京工業大学	82 名

3. 本部大会・支部行事関連行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
3 月 17 日	第 78 年会「エレクトロニクス」	【主催】化学工学会	大阪大学	20 名

9月16日	第45回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」	【主催】化学工学会	岡山大学	30名
-------	---------------------------	-----------	------	-----

4. 講習会などの啓発活動

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

月日	出版物名	出版社	発行部数
10月	化学工学10号特集「化学工学年鑑2013」	化学工学会	

6. 受託事業の推進

月日	テーマ	委託元	参加人数	期間

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

月日	発行物	発行部数
2013年3月 -2014年2月	部会ニュース Vol.6, No.1-No.6	部会員に配信・HPに掲載

8. その他

・幹事会

隔月に6回開催した。通常の事務処理、企画の議論の他に、部会活性化の討論が行われた。

第2回幹事会では次の講演があった。

「三次元半導体に向けたTSV技術のプロセス技術」株式会社東芝 高橋健司氏

第3回幹事会では次の講演があった。

「TSVによるLSIの3D・2.5D技術の動向と課題」長野県工科短大客員教授 傳田精一氏

第4回幹事会では次の講演があった。

「超高速LSI向け低抵抗率Cu配線の開発」茨城大学教授 大貫 仁氏

第5回幹事会では次の講演があった。

「シェールガス・オイル掘削で活躍するフェノール樹脂」住友ベークライト株式会社 有田 靖氏

第6回幹事会では次の講演があった。

「自己組織化法に基づく界面構築技術とアプリケーション」北海道大学准教授 川口俊一氏

- ・電子SI連絡協議会（電子SI技術に関する学協会、研究機関、大学などの横断的組織、略称ESIC）
本協議会には当部会が化学工学会を代表して参加している。本年度は7月19日に開催された。

以上

資料2

エレクトロニクス部会 2014年度(2014年3月～2015年2月)事業計画書

2014年 1月 27日

1. 国際関連事業

- 予定なし。ただし臨時開催はある。
2. シンポジウム・講演会などの行事
10月 シンポジウム
 3. 本部大会・支部行事関連行事
第79年会「エレクトロニクス」
第46回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」
 4. 講習会などの啓発活動
シンポジウム要旨集のホームページへの掲載
 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
「化学工学」年鑑執筆
 6. 受託事業の推進
なし
 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
部会ニュースの配信とホームページへの掲載
 8. その他
幹事会 6回開催予定
電子SI連絡協議会(ESIC)出席

以上

資料3

マイクロプロセッシング研究討論会の廃止について

荻野文丸

第4回マイクロプロセッシング研究討論会を2013年5月17日に行いました。活発な討論が行われてその意味では意義ある討論会でした。しかし、参加者は幹事と住友ベークの方と併せて20名前後で、過去3回に比べると**10名ぐらいの減少**です。減少分はすべて**賛助会員**会社の方たちです。

この減少の原因ですが、開催時期が悪かったのか、この様な研究発表会は当部会では不要なのか、の二つ位が考えられます。開催時期については幹事の皆さんのお話を聞いても、それほど具合悪いことはなさそうです。となるとこの様な**研究発表会は不要**なのかと思います。

当部会の継続趣意書によりますと、当部会の目的は「**技術開発および研究活動**」と「**知識・情報の普及を図る**」で、前者は**年会および秋季大会とマイプロ研究討論会、後者は当部会主催のシンポジウム**がその活動の主体です。

年会と秋季大会はどちらかと言えば外向けの報告会になりますので、内向け特に賛助会員向けの報告会としてマイプロ研究討論会を発足させました。また**報告会をやることによって当部会の研究ポテンシャルも上がる**ことを期待しました。しかし今回これは不要と言うことですので、廃止したいと思います。

当部会の「**技術開発および研究活動**」のポテンシャルは高くないというのが私の認識です。今後の課題としては、年会と秋季大会を通してこの研究ポテンシャルを如何に上げるかということになります。

以上